

# 北海道乳牛産地情報

(令和6年10月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	20~30	横這い	札幌管内の9月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で102.2%、累計で97.9%、苫小牧管内月計で101.1%、累計で97.2%の実績となっております。 10月の初妊牛動向といたしまして、12月下旬~1月中旬の分娩になりますが、資源は豊富にあるため、相場については前月並みで横這いに推移するものと見込まれます。選別精液腹・F1腹問わず資源の出回りはあります。高能力牛の選択が可能な地域でありますので、導入のご予定がございましたらお問い合わせ下さい。
	初妊牛	40~50	横這い	
	経産牛	30~40	横這い	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	20~30	横這い	根釧管内の9月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で102.4%、累計で100.2%、中標津管内月計で103.4%、累計で101.0%の実績となっております。 10月の初妊牛動向といたしまして、12月下旬~1月中旬分娩が中心となります。猛暑が続いた府県での更新需要が考えられますが、管内の乳牛市場への出品頭数は多く、庭先購入価格は横這いで推移するものと思われま。資源状況はF1腹、雌雄選別腹ともに十分に確保され、また和牛受精卵移植腹の出回りもあります。腹別では雌雄選別腹、和牛受精卵移植腹の引き合いが弱く、F1腹の引き合いが強い状況が続くと見込まれます。
	初妊牛	43~53	横這い	
	経産牛	33~43	横這い	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	20~30	横這い	帯広管内の9月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で103.0%、累計で100.3%の実績となっております。 10月の初妊牛動向といたしまして、12月下旬~1月中旬分娩が中心となります。資源については十分に確保できる状況であることから、相場についても横這いで推移するものと見込まれます。腹別の資源状況ですが、前月同様にF1腹の引き合いが強くなり、雌雄選別腹の需要が軟調傾向になると見込まれます。和牛受精卵移植腹につきましては、導入しやすい価格帯となっています。即戦力とできるような分娩時期の牛や若い経産牛においては、初妊牛と同様の価格帯で取引されています。育成牛に関しましては、夏分娩になる月齢の育成牛の出回りになり前月並みで推移されると予想されます。
	初妊牛	43~53	横這い	
	経産牛	33~43	横這い	
道北管内	育成牛(10-12月令)	30~40	横這い	道北管内の9月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で99.0%、累計で98.2%、北見管内月計で103.1%、累計で101.6%の実績となっております。 10月の初妊牛動向といたしまして、12月下旬~1月中旬分娩が中心となります。冬に向けた分娩中心となります。 例年、都府県は夏暑さによる影響が牛群に出始め、導入需要が高まってくると考えられますが、資源が豊富にあることから、生体取引の値動きは、横這いに推移すると予想されます。出回りの腹別の資源状況については、雌雄選別腹、F1腹ともに潤沢な状況です。経産牛については、道内からは即戦力を求める動きで需要が高まっています。秋・冬分娩の経産牛も動きは横這いに推移すると見込まれ、価格は横這いで推移すると予想されます。
	初妊牛	43~53	横這い	
	経産牛	33~43	横這い	
道内総括	育成牛(10-12月令)	20~30	横這い	道内の9月中旬までの生乳生産量前年比は102.3%、累計で100.1%の実績となっております。 10月の初妊牛動向といたしまして、12月下旬~1月中旬分娩が中心となります。冬に向けた分娩中心となります。資源については十分に確保できる状況となっており、庭先購入価格は横這いで推移する見通しとなっております。腹別の資源状況では、F1腹の引き合いが強くなり、雌雄選別精液の引き合いは弱く、和牛受精卵移植腹につきましても導入しやすい価格帯となっております。経産牛については、即戦力を求める需要が高まっております。弊会としましては庭先購入中心にご要望に合った搾乳用素牛を供給して参りますのでご注文をよろしくお願いたします。
	初妊牛	43~53	横這い	
	経産牛	33~43	横這い	

\*上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

庭先選畜購買のため、市場購買とは異なります。

札幌支所

☎011-241-0765

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。  
担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただけるよう購買のお手伝いを致します。  
また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

《各事務所電話番号》

釧路事務所 ☎(0154)52-1232  
根室駐在員事務所 ☎(0153)76-1877  
帯広事務所 ☎(0155)37-6051  
道北事務所 ☎(01654)2-2368